

ティーチング・ステートメント

所属 工学部都市環境学科
名前 井田 直人
作成日 2024年2月26日

【責任】

○工学部都市環境学科に所属し、専門分野である「交通計画」の他、専門科目の「測量学Ⅰ・Ⅱ」、「建設情報Ⅰ」、初年次導入教育となる「コンピュータリテラシ」、「数値解析基礎」を担当している。また、4年次ゼミ生の卒業研究指導、キャリア指導を行っている。《授業時間割表、シラバス》

○技術士第一次試験受験者を対象とした「技術士合格塾」を開講し、受験勉強の支援を行っている。《学生配布リーフレット》

○校務では、教務委員、教職課程委員、クラス担任を務めている。《教授会資料》

【理念】

○学生には、社会人としてのルールやマナーを身に付けた上で、目標に向かってスキルアップすることの楽しさを知ることにより、学び続けることを習慣化して貰いたい。常に学び続けることで、社会経済環境がどの様に変化しようとも、技術がどの様に進化しようとも、必要とされる人材になると考えている。

○また、絶対的な正解が無い問いに対しても、自ら考え、意見としてまとめ、他者に説明できる様になって貰いたい。その際、一方的な自己主張の押し付けにならない様に、意見や立場が異なる人に対しても敬意や配慮をもって話を聴く姿勢を身に付けて欲しい。さらに、円滑にコミュニケーションをとるために、相手の話を聴き、要点を抑えるスキルを身に付けて貰いたい。円滑な双方向性のコミュニケーションスキルを身に付けることで、地域社会に必要な土木技術者になると考えている。

○学生である期間に多くの困難にチャレンジして貰いたい。困難を乗り越えた先に得られた成功の体験は、学生本人の自信に繋がり、人生をより豊かなものへと導いてくれると考えている。仮にそのチャレンジが失敗に終わったとしても、失敗から立ち直る術やリカバリーの手段、失敗を繰り返さないための学び方を身に付けることができ、長い目で見たときには必ずしも失敗とはならないと考えている。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、教育においては以下の5点の方針に基づいて活動している。

□他者に対して配慮ができる人になるように指導する。

- 授業のガイダンスにおいて、当該授業で守るべきルールやマナーを指導する（私語の禁止、教室内での脱帽など）。《授業ガイダンス資料》
- 課題の提出期限を厳守させる。《授業ガイダンス資料》
- ゼミ活動においては「報告・連絡・相談」を徹底する様に指導している。《ゼミレジュメ》
- ゼミの対外調査においては、被調査者等に配慮した質問を考えるように指導している。

□自らの考えを意見としてまとめ、他者に伝えるスキルが身に付くように指導する。

- 卒業研究のテーマは、過去の論文等を参照して研究領域を認識させた上で、自由に提案できる様にしている。《ゼミレジュメ》
- ゼミ生の意見には途中で話を挟まずまずしっかりと聴き、その上で議論する様にしている。

□授業の要点を学生に意識させ、定着させる様に指導する。

- 座学においては、授業開始時または終了時に、毎回 小テスト（確認レポート）を課している。《授業資料》
- コンピュータ系の科目においては、例題や演習を数多く解答させて、PC操作に慣れさせ

- ている。《授業資料》
- 期末試験の前に 所定の用紙 を配布し、各々要点をまとめさせている（そのまま試験時に持ち込ませている）。《授業資料》

□学習内容が社会に出た後でどの様に役立つかを意識的に指導する。

- 現実のプロジェクトに基づき、学習内容を総合的に俯瞰できる 演習課題 を作成している。《授業資料》

□重大な事態に陥らないことが明らかな場合には、敢えて失敗も経験できる様に指導する。

- 卒業研究においてゼミ生を指導する際には、たとえ失敗することが明白であったとしても敢えてそれを指摘せずに経験させている。その後、失敗に陥った要因を分析させることで、より良い成果を得るためにすべきことを考えさせている。《ゼミレジュメ》

【成果・評価】

- 担当科目の 授業アンケート において、学生からは比較的高い満足度(6~7割)が得られている(アンケート回答率は2~9割と科目によるばらつきがある)。《授業アンケート回答結果》
- 「技術士合格塾」の活動を継続しており、2022年度は19名が合格した。《官報、合格証の写し》

【目標】

[短期目標]

- 授業動画等のオンライン用教材を更新して、学生自ら、いつでも、何度でも、各自のペースで学習できる環境を提供する。(2025年1月)
- 卒業研究の学外調査を引き続き実施し、様々な社会経験を積ませる。(2024年9月)
- 技術士合格塾を拡充し、技術士第一次試験の他、1級土木施工管理技術検定第一次検定にも対象を広げていく。(2024年4月)
- 技術士第一次試験合格者が安定的に2桁となる様に改善を継続する。(2025年3月)

[長期目標]

- 全ての担当科目において、教育レベルを担保しつつ、科目の合格率を80%以上にまで引き上げる。(2027年3月)

【更新歴】

- ver1 2021年3月17日作成
- ver2 2024年2月26日更新